opusdei.org

聖ホセマリアの祝 日:"私たちの仕事、 神様の働きの場所"

聖ホセマリアの記念日にオプス・デイ属人区長がローマの 聖エウジェニオ大聖堂で行っ た説教と、世界各地で行われた記念ミサの写真集

2017/07/10

PDFクリック

フェルナンド・オカリス オプス・デ イ属人区長 2017年6月26日、ローマ、聖エウジェニオ大聖堂

今日、私たちは、聖ホセマリアが生涯に亘って説き続けた、聖性と使徒職への普遍的な召し出しのメッセージを思い起こし、喜びと主への感謝に満ち溢れています。

信仰の光が私たちの仕事の視野を拡げ、神が人間を創造し、エデンの園

におかれたのは、人間が「エデンの 園で働き、そこを守るため」(創世記 2,15) だったことを分からせます。 この地上は、日々耕し世話をする庭 園として人間に委ねられており、そ こには様々な可能性を秘めた状況が 潜んでいます。私たちは、神の光栄 と兄弟たちへの奉仕のため、それを 見つけ出し、発展させなければなり ません。

 な仕事とか様々な状況で苦しんでいる人に無関心をかこつことのないよう励まされます。

聖霊の光に導かれて私たちは、ゲネ サレト湖畔で最初の弟子たちを招か れた時のように、私たちの方へお出 でになるイエスと出会います。主 は、ペトロと仲間たちの舟に乗りこ まれたように私たちの生活に入り込 まれます。その船は、仕事では失敗 でした 一魚一匹すら積まれていな かった が、神である師の教座にな り、神のみ国の神秘が啓示されると ころになりました。さらに、この船 は、奇跡の大漁の前表である超自然 的な冒険を始めます。キリストの現 存は、私たちの仕事を改善し、私た ちの古い船を神の働きの場に変える のです。そして、このようなこと は、愛を込めて単純に行うことがで きます。気が合わない同僚が、携 わっている仕事を旨くやり遂げるた めに、必要ならば実践的な助言をす

る、あるいは、悩み沈んでいるような人に話す必要があると思うなら、 時間を割くことなどです。

主は、この世がとても必要としてい る喜びと幸せをもたらすために、私 たちが御手の道具になるようお望み です。そして、ペトロに対すると同 じように私たちを招いておられま す。「沖に乗り出して、網をおろし て漁をしなさい | (ルカ5,4)。ここで の網は神の恩恵に満たされた仕事の 中におろされ、そこを、キリスト教 的な証しの場、同僚や関わっている 全ての人たちを誠実に助ける場と変 えます。ここで教皇フランシスコの 勧めを思い起こすことができます。 「皆さんの友だちの信仰を活き活き とさせるための努力が徒労に思える 時、漁師たちの夜中の無駄働きが、 イエスの同伴で全く変わったことを 思い起こしなさい。主のみことばは 網をいっぱいにしました。そして主 のみことばは弟子たちの盲教の仕事

を実りあるものにします」(2013年9 月22日講話)。

私たちの内にお住いの聖霊にお任せ するなら、沖に押し出してくれま す。つまり、日々、使徒職の場であ る家庭や職場のことを気遣い、友だ ちや知り合いたちと細やかに付き合 うよう促してくれるのです。すると 聖ホセマリアが指摘するように奇跡 が繰り返されるでしょう。「弟子た ちを伴って海に出たとき、イエスは この漁だけをご覧になっていたので はありません。それゆえ、ペトロが 足もとにひれ伏して『主よ、私から はなれてください。私は罪人で す。』と謙遜に告白すると『おそれ ることはない。あなたはこれからの ち、人を漁(すなど)るようになるで あろう』(ルカ5.10)とお答えになり ました。新たに始める漁において も、神の御働きの効果が損なわれる ことはないでしょう。そして、あわ れな存在とは言え使徒たちは神の偉 大なみわざの道具となるのです」 (『神の朋友』261番)。私たちもまた 使徒です。仕事とあらゆる人間的な 現実を神に向かわせようと努力する 使徒になるべきです。

ロザリオの連祷で呼びかける「使徒の元后」である聖母に、世の救いという教会の使命に積極的に協力することをお教えくださいと頼みましょう。全教会と一致して、人間の一つひとつの活動の中心と根底にキリストをすえること、これが聖ホセマリアの心の中に大切に占めていた切望でした。

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/zokujinkucho-sekkyo-2017-6/(2025/11/24)